

iPS細胞由来神経前駆細胞の長期造腫瘍安全性試験の実施

分担研究者：金村 星余

分担研究者：西下 直希

分担研究者：郷 正博

分担研究者：永井 洋士

公益財団法人) 先端医療振興財団

研究要旨

当年度では、慶應義塾大学・岡野 栄之グループが推進する『iPS細胞由来神経前駆細胞を用いた脊髄損傷・脳梗塞の再生医療』を側面から支援し、臨床応用への開発工程を効率化・短縮化させることを目標とする。

上記の研究グループと造腫瘍性試験に対する業務分担を行い、iPS細胞由来神経前駆細胞の造腫瘍試験、特に移植後の長期経過観察（1年以上）とSorting後の造腫瘍性（+）細胞と（-）細胞のスパイクテストを評価する予定計画を立案した。加えて本研究では、皮下移植よりも生着率が低いNOGマウス線条体への移植時に対する造腫瘍性感度試験をU251細胞（アストロサイトーマ: JCRB細胞バンク）を有する陽性対照として用いた試験を実施した。